

北東アジア青少年環境保全レポート

2007年2月

富 山 県

(財) 環日本海環境協力センター

目 次

1	はじめに	1
2	北東アジア青少年環境シンポジウムの開催結果	1
(1)	2004年(テーマ:「水環境保全」)	1
①	開催概要	1
②	環境保全活動報告	2
③	北東アジア青少年環境シンポジウム宣言	3
(2)	2005年(テーマ:「循環型社会の構築」)	3
①	開催概要	3
②	環境保全活動報告	4
③	北東アジア青少年環境シンポジウム宣言	6
(3)	2006年(テーマ:「自然環境保全」)	6
①	開催概要	6
②	環境保全活動報告	7
3	地域環境レポート	9
(1)	中国	
①	遼寧省コロトウ市東苑小学校 「中国草の根活動団の環境保護活動」	11
②	遼寧省朝陽市第2高級中学校 「街路樹の立ち枯れ状況調査」	12
③	遼寧省朝陽市第2高級中学校 「朝陽市における環境状況調査」	13
④	遼寧省朝陽市第2高級中学校 「生徒の環境意識調査」	14
⑤	河北省秦皇島市第12中学校 「生徒による様々な環境保護活動」	15
(2)	日本	
①	富山県富山市立北部中学校 「環境にやさしいふるさとづくり」	16
②	富山県富山市立北部中学校 「EMだんご作り体験(有用微生物の力できれいな川を取り戻そう)」	17
③	富山県小矢部市立津沢中学校 「環境保全活動についての啓蒙活動」	18
④	富山県南砺市立上平中学校 「「結(ゆい)」の心を守り伝える」	19
⑤	富山県射水市立新湊西部中学校 「射水市アダプト・プログラム」	20
(3)	モンゴル	
①	セレンゲ県スクバートル市第1中学校 「環境保全のための活動」	21
(4)	韓国	
①	忠清南道公州市公州女子中学校 「学校の森作り活動」	22
②	忠清南道保寧市大川中学校 「学校での環境保全活動」	23
③	忠清南道青陽郡長坪中学校 「環境体験活動」	24
(5)	ロシア	
①	沿海地方シティーコワ村第15総合学校 「環境保全事業への参加」	25
②	ハバロフスク地方ハバロフスク市 ハバロフスク地方国立環境・生物学センター 「環境保全事業への参加」	26
4	青少年からの提言	30

北東アジア青少年環境保全レポート (北東アジア地域青少年環境教育推進事業)

1 はじめに

北東アジア地域青少年環境教育推進事業は、北東アジア地域の学校や地域において草の根の環境保全活動を行う青少年に対して、国際的な環境教育の場を提供することにより、地域の繋がりを理解し、広い視野で環境保全に努める人材を育成し、北東アジア地域の環境保全を推進する事業であり、「北東アジア青少年環境シンポジウム」の開催等を行っています。

北東アジア青少年環境シンポジウムは、北東アジア地域自治体連合（NEAR）環境分科委員会の共同プロジェクトとして、会員自治体等の協力を得ながら、2004年に韓国忠清南道で「水環境保全」をテーマに開催して以来、2005年は中国遼寧省（「循環型社会の構築」）、2006年はロシア沿海地方（「自然環境保全」）で開催してきました。

このたび、これまでのシンポジウムの結果、地域の環境保全の課題や各地域で実践されている環境保全活動の報告、そして北東アジア地域の持続的発展に向けた青少年の意見や提言を「北東アジア青少年環境保全レポート」として取りまとめましたので、今後の環境保全活動及び環境協力の展開にご活用いただければ幸いです。

2 北東アジア青少年環境シンポジウムの開催結果

(1) 2004年（テーマ：「水環境保全」）

① 開催概要

- ・ 期 日 8月21日（土）～22日（日）
- ・ 場 所 大韓民国 忠清南道 保寧市
- ・ 参加者 4か国・8自治体の中学生37名
中 国：4名（山東省2名、江蘇省2名）
日 本：9名（富山県7名、新潟県1名、石川県1名）
韓 国：22名（江原道2名、忠清南道20名）
ロシア：2名（沿海地方2名）
- ・ 内 容
 - ア 挨拶 富山県、忠清南道
 - イ 基調講演 「北東アジア地域の環境の現状と課題」
(韓国公州映像情報大学 李 進 学長(元韓国環境部次官))
 - ウ 活動発表(9団体)・・・②
 - エ 水質簡易測定法の実習(透視度、CODパックテスト、pHパックテスト)
 - オ 共同野外環境保全活動(海岸漂着物調査、清掃活動)
 - カ 環境学習
「私たちの水環境」(コーディネーター：富山県立大学 川上智規 助教授)
「環境家計簿」の説明
 - キ 北東アジア青少年環境シンポジウム宣言の採択・・・③

② 環境保全活動報告（テーマ：水環境保全）

自治体名	学校名	活動内容の概要
中国		
山東省	煙台市第二中学校	「山東省における黄海沿岸海辺の漂着物調査」 ・水資源の大切さや、海辺の漂着物調査に参加した結果から感じた、意識啓発の重要性について提言。
江蘇省	啓東市呂四港鎮鶴城初級中学校	「水資源保護－我々の負うべき責任」 ・省を挙げての海辺の漂着物調査に参加した結果から感じたことや、宣伝教育の大切さについて報告。
日本		
新潟県	越路町立塚山中学校	「ホタル生息地「牛の首」水質調査」 ・ホタル保護のために取り組んでいる、ホタル用水路の水質調査の研究や清掃ボランティア活動について報告。
富山県	高岡市立中田中学校	「地下水を利用した生物の保護活動」 ・学校でホタルの幼虫を飼育し、用水に放流する活動やアシツキノリ、トミヨの保護活動、全校生徒への広報・啓蒙活動について発表。
富山県	高岡市立伏木中学校	「私たちの清掃ボランティア活動」 ・伏木地区の素晴らしい環境を守るための地域の美化活動への参加や海辺の漂着物調査に参加するなどの取組みについて発表。
韓国		
忠清南道	大川市大川中学校	「干潟の価値と保存方法の調査」 ・環境汚染や異常気温などによって破壊されている干潟の環境を守るため、干潟の価値を調べるとともに、保存方法について調査した結果について発表。
忠清南道	大川市大川中学校	「水の節約の方案」 ・地球上で人類が容易に利用できる貴重な淡水について、世界と韓国での使用実態を比較するとともに、節約するための方法について検討した結果を報告。
忠清南道	大川市大川中学校	「水質環境保存及び対策」 ・水質汚染を防止するために、汚染の現状や原因について調査した結果や、私たちができる生活排水を減らすための取組みについて検討した結果を報告。
ロシア		
沿海地方	アルセニエフ市立教育機関 第1総合学校	「沿海地方におけるハスの花の保全」 ・沿海地方のシンボルでもあるハスの花を守るための保護方法の検討結果や、人工栽培による取組みの状況について報告。

③ 北東アジア青少年環境シンポジウム宣言

北東アジア青少年環境シンポジウム 2004 宣言

2004 年北東アジア青少年環境シンポジウムに参加した私たちは、お互いの身のまわりの環境問題を話し合うことにより、環境問題には、それぞれの地域に特有の課題から、地球的規模での課題まで様々な問題があることやその原因が私たちの日常生活と密接な関係があることを認識した。

また、これらの環境問題を改善するためには、より多くの人々が連携協力して取り組む必要があるが、未来を担う青少年としても様々な取組が可能であり、現に多くの青少年が実行していることを知った。

このシンポジウムに参加した私たちは、北東アジアの豊かな環境がいつまでも維持されることを願い、北東アジアの全ての青少年がお互いを良きパートナーとして、自然と共生する社会や循環型社会の構築を目指し、ともに環境保全のための取組に積極的に参加することを呼びかける。

2004年8月22日

北東アジア青少年環境シンポジウム 2004 参加者一同



活動発表



水質簡易測定法の実習

(2) 2005年 (テーマ:「循環型社会の構築」)

① 開催概要

- ・ 期 日 8月21日(日)～22日(月)
- ・ 場 所 中華人民共和国 遼寧省 瀋陽市
- ・ 参加者 5か国・12自治体の中学生45名
 - 中 国：27名(遼寧省15名、山東省2名、江蘇省1名、河南省2名、河北省1名、上海市2名、吉林省2名、内モンゴル自治区2名)
 - 日 本：6名(富山県6名)

モンゴル：3名（セレンゲ県 3名）

韓国：5名（忠清南道 5名）

ロシア：4名（沿海地方 4名）

・内 容

ア 挨拶 富山県、遼寧省

イ 活動発表（14 団体）・・・②

ウ 環境学習

「ごみ処理で大切なこと、今すぐできること」（富山県立大学 立田真文 助教授）

「廃棄物の測定と計算」（北京市西城区青少年科技館 周又紅 教科研主任）

エ 共同野外環境保全活動（生ごみの堆肥づくり）

オ 北東アジア青少年環境シンポジウム宣言 2005 の採択・・・③

② 環境保全活動報告（テーマ：循環型社会の構築）

自治体名	学校名	活動内容の概要
中国		
遼寧省	瀋陽市第31中学校	「廃棄チューインガムが環境に危害を及ぼさないように」 ・咀嚼（そしゃく）後捨てられるガムの問題を指摘し、ガムの溶解実験結果を紹介、食べられるガムの開発、咀嚼後のガムの有効活用等を課題提起。
遼寧省	大連市旅順口区 鉄山中心小学	「“白色ごみ”の処理」 ・白色ごみ（使い捨ての発泡スチロール容器やビニール袋等）の環境への悪影響を指摘し、分別収集や普及活動、再利用技術の開発等が必要であると提言。
遼寧省	営口市第17中学校	「私は環境保護の少女」 ・先天的に手足の不自由な発表者が一人で始めた廃乾電池の回収活動が、環境保護活動への啓発になったこと、現在は環境保護に関する壁新聞の作成やエコ消費に関する調査等を実施していることについて発表。
遼寧省	錦州市古塔区 駅4中学校	「大自然の真珠—落ち葉に関する研究」 ・現在焼却処理されている落ち葉に関し、土壌の温度維持や有機肥料、工芸品作成等への有効活用について調査・検討したことについて報告。
山東省	済南市第5中学校	「より美しい明日のために」 ・市内広場の清掃活動等を行い、その結果をクラスで報告し、美しい環境を守るため意見交換を行ったことについて発表。
江蘇省	啓東市匯龍中学校	「固形廃棄物処理の創意」 ・「ごみゼロ校庭」実現のために実施したごみの分別回収、再利用等のための管理システムの構築、分別回収により得られた資金で環境保護基金を設置し、苗木の購入

		や環境保護を学習する生徒への支援を行ったことについて発表。
内モンゴル自治区	フフホト特別第1中学校	<p>「“電子ゴミ”の危害と回収について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃家電製品による環境問題に関し、市内の現状と発生原因についての調査や解決のための法規制の整備、普及啓発の強化、製造・販売業者に対する監督・管理の強化、廃家電製品のリサイクルシステムの構築等の提言について発表。
日本		
富山県	富山市立北部中学校	<p>「学校と地域が協力して進めるエコ活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で実施した環境意識調査の結果や親子資源回収活動（学校、保護者及び地域が協力して実施する清掃活動及び資源回収活動）などについて発表。
富山県	小矢部市立津沢中学校	<p>「ごみを分別回収して資源化する活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭からや清掃活動により回収したアルミ缶をリサイクル業者に引き取ってもらい、得られた収入で車椅子を購入、老人福祉施設に寄贈した活動について発表。
モンゴル		
セレンゲ県	スクバートル市 第1中学校	<p>「モンゴルにおける環境現状と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちができること、すべきことを話し合ったことについて報告。
韓国		
忠清南道	公州市公州女子中学校	<p>「環境保全のための私たちの努力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の森づくりをきっかけとした、環境保全教育やごみの分別回収、リサイクル、清掃活動等の環境保全活動について発表。
忠清南道	保寧市大川中学校	<p>「循環型社会の構築のための活動事例」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制服や参考書等の後輩への譲渡や学校周辺の清掃など学校での活動や使い捨て商品の自粛、廃油の石鹸作りなどの家庭での活動について発表。
ロシア		
沿海地方	ルチェゴールスク村 第4総合教育学校	<p>「生活廃棄物のリサイクル及び小学生のための啓発実践活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活廃棄物や有害物質に関する普及啓発を行うため、テレビやラジオ番組、パンフレットの作成、子どもたちによる演劇の上演、電池収集コンクールなどの活動を行ったことについて発表。
沿海地方	アルセニエフ市立 第4総合教育学校	<p>「ジュニア ナチュラリスト ステーションでの廃棄物再利用の取組」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活廃棄物をアート、造園、家具等に利用して廃棄物量を減らす「ごみ」事業を通じて、環境保全の取り組みを楽しく実施している活動について紹介。

③ 北東アジア青少年環境シンポジウム宣言

北東アジア青少年環境シンポジウム 2005 宣言

2005 年北東アジア青少年環境シンポジウムに参加した私たちは、お互いの身のまわりの環境問題を話し合うことにより、環境問題には、それぞれの地域に特有の課題から、地球的規模での課題まで様々な問題があることやその原因が私たちの日常生活と密接な関係があることを認識した。

また、これらの環境問題を改善するためには、より多くの人々が連携協力して取り組む必要があるが、未来を担う青少年としても様々な取組が可能であり、現に多くの青少年が実行していることを知った。

このシンポジウムに参加した私たちは、北東アジアの豊かな環境がいつまでも維持されることを願い、北東アジアの全ての青少年がお互いを良きパートナーとして、自然と共生する社会や循環型社会の構築を目指し、ともに環境保全のための取組に積極的に参加することを呼びかける。

2005年8月22日

北東アジア青少年環境シンポジウム 2005 参加者一同



活動発表



共同野外環境保全活動

(3) 2006年 (テーマ:「自然環境保全」)

① 開催概要

- ・ 期 日 8月21日(月)～22日(火)
- ・ 場 所 ロシア連邦 沿海地方 ウラジオストク市
- ・ 参加者 4か国・6自治体の中学生 97名
中 国 : 8名 (遼寧省 8名)

日 本：6名（富山県 6名）
 韓 国：8名（江原道 3名、忠清南道 5名）
 ロ シ ア：75名（沿海地方 72名、ハバロフスク地方 3名）

・内 容

ア 挨拶 沿海地方、(財)環日本海環境協力センター

イ 活動発表 (11 団体)・・・②

ウ 環境学習

「淡水バイオモニタリングと無セキツイ動物を使用した水質評価」

(ロシア科学アカデミー極東支部 ヴィシーヴコワ T. S. 主任研究員)

「生物多様性が生態系（環境）を守る～微生物が守る環境～」

(富山大学理学部生物圏環境科学科 中村省吾 教授)

エ 「北東アジア地域の青少年からの提言」の意見交換（提言の内容は 4 を参照）

② 環境保全活動報告（テーマ：自然環境保全）

自治体名	学校名	活動内容の概要
中国		
遼寧省	コロトウ市 小草ボランティア団体	「人類の友達を守り、生命のネットワークを大切に」 ・「人間と動物が仲良く共生していく」という理念に基づき、教職員と生徒との共同による講座の開催、市民に呼びかける活動について発表。
遼寧省	実験中学校 環境保全ボランティア団体	「“アナグマ洞穴”からの物語」 ・稀有な水鳥が沢山住んでいる「アナグマ洞穴」の自然環境を守るための現地調査や観察記録等の取り組みについて発表。
日本		
富山県	南砺市立上平中学校	「山から教わるエコロジーライフ」 ・山を守り自然と共生するために行った、学校林の下草刈りや植樹活動、炭焼き体験活動について発表。
富山県	射水市立新湊西部中学校	「七夕ボランティア 20 周年を迎えて」 ・学校で 20 年間続く河川の清掃ボランティア活動を通じた、ごみがなくなる現状や、きれいな川を取り戻すまで活動を続けていく意思について発表。
韓国		
江原道	華川郡看東中学校	「学校の美しい森づくり」 ・自然と人との関係の重要性を学ぶため、全校生徒が協力して取り組んだ学校の森づくりについて発表。
忠清南道	青陽郡長坪中学校	「環境体験活動報告資料」 ・自然を守る意識を育てるために実施した、学校の畑づくりや下水最終処理場等の見学、干潟、望月山の探索等の環境体験活動を行ったことについて発表。

忠清南道	舒川郡長項中学校	「花で彩られた学校を守る」 ・優しい心と環境にやさしい学校をつくるために実施している、校内での植樹活動や野花の観察、干潟・砂丘の探索、渡り鳥保護活動などについて報告。
ロシア		
沿海地方	ヴォーリナ・ナゲージンスコエ村 第1中学校	「社会環境当番「リカandel」への参加」 ・海岸でのごみ収集ボランティア活動に参加し、ごみの9割程度が生活廃棄物であったことや、観光客にルールを守るよう呼びかけた活動について発表。
沿海地方	タリレフェンスク市 第2中学校	「学校における環境保全・啓発事業」 ・学校周辺の自然環境についての研究や講習会、自然と楽しむキャンプや環境保全ボランティア活動など、学校での意識向上のための取組みについて発表。
ハヴロフスク地方	第5アムールスク市立 総合学校	「コウノトリ、自然内野外観察とひなの室内観察結果」 ・コウノトリの巣の野外観察及び雛の室内観察の記録を通じた、個体群の現状や保護対策について発表。
ハヴロフスク地方	ビチーハ村総合学校	「湧き水の泉保護活動、ビチーハ村周辺水質環境調査」 ・村へ湧き水を汲みにくる人たちの増加とともに、泉周辺のごみの量が増加したため、訪問者への浄化活動への参加を呼びかけた活動について報告。



活動発表



環境学習

3 地域環境レポート

地域環境レポートとは、シンポジウムで得た情報や経験などを踏まえて、参加者が自らの地域の環境や保全活動を改めて認識し、活動をより一層充実させることを目的に、2006年からシンポジウムのフォローアップ学習として位置づけている活動です。

この活動では、参加者が、シンポジウム終了後に学校での取り組みや地域の団体の活動等について取材し、レポートとしてまとめることとしており、このうち提出のあったレポートを以下に掲載しています。(2006年以前の参加者についても事後活動報告があったものは掲載しています。)

参加者は、シンポジウムで得た経験や知識を学習発表会などの場で他の生徒や地域住民に向けて報告し、環境保全の大切さを啓発するとともに、学校での資源回収活動や清掃活動、植樹等の環境保全活動に一層意欲的に努めています。

また、地元の自治体や環境保全団体への取材を通じて、身近なところで取り組まれている環境保全活動への理解を深め、その活動に積極的に参加するなど、活動の幅を広げています。

(1) 中国

- ① 遼寧省コロトウ市東苑小学校 「中国草の根活動団の環境保護活動」
 - ・中国草の根活動団が実施した、資源の節約や生物多様性の保護、グリーン消費の提唱などの環境保護活動について報告。
- ② 遼寧省朝陽市第2高級中学校 「街路樹の立ち枯れ状況調査」
 - ・生徒が実施した、市の街路樹の立ち枯れ調査について報告。
- ③ 遼寧省朝陽市第2高級中学校 「朝陽市における環境状況調査」
 - ・生徒自身による市の環境汚染状況や整備状況についての調査・視察活動について報告。
- ④ 遼寧省朝陽市第2高級中学校 「生徒の環境意識調査」
 - ・生徒の環境保護に対する意識や理解について、アンケート調査を行った結果を報告。
- ⑤ 河北省秦皇島市第12中学校 「生徒による様々な環境保護活動」
 - ・生徒会の環境ボランティアによる、環境保護宣伝活動や汚水処理場の調査活動等について報告。

(2) 日本

- ① 富山県富山市立北部中学校 「環境にやさしいふるさとづくり」
 - ・地区の住民・団体・事業者・行政が協力して実施している「環境にやさしいふるさとづくり」を目指した活動への参加について報告。
- ② 富山県富山市立北部中学校 「EMだんご作り体験(有用微生物の力できれいな川を取り戻そう)」
 - ・川に投入して川底のヘドロを浄化するための「EMだんご」を作る活動体験について報告。
- ③ 富山県小矢部市立津沢中学校 「環境保全活動についての啓蒙活動」
 - ・アルミ缶回収活動への参加や、学習発表会において実施した環境保全活動についての啓蒙活動について報告。
- ④ 富山県南砺市立上平中学校 「「結(ゆい)」の心を守り伝える」
 - ・五箇山自然文化研究会の活動に参加して再認識した、人と人との共存、自然と人との共生の大切さについて報告。

- ⑤ 富山県射水市立新湊西部中学校 「射水市アダプト・プログラム」
- ・市が行っているアダプトプログラムに参加し、公園の美化活動や道路のごみ拾いを行った活動について報告。

(3) モンゴル

- ① セレンゲ県スクバートル市第1中学校 「環境保全のための活動」
- ・環境保全のため、学校周辺の掃除・植樹や、ゴミ箱を設置した活動について報告。

(4) 韓国

- ① 忠清南道公州市公州女子中学校 「学校の森作り活動」
- ・学校内で実施した植樹や花壇作り、森の環境保護などの活動について報告。
- ② 忠清南道保寧市大川中学校 「学校での環境保全活動」
- ・学校で行った制服等のリユースや道路清掃活動、環境保全活動への積極的な参加などの取り組みについて報告。
- ③ 忠清南道青陽郡長坪中学校 「環境体験活動」
- ・環境サークルが実施した、菜園作りや河川調査、ごみ埋立地の見学や干潟の調査などの環境体験活動について報告。
- ④ 江原道華川郡看東中学校 「美しい学校の森作り」
- ・全校生が実施した、地域ボランティア活動と美しい学校の森作りのために実施した植栽や観察活動について報告。
- ⑤ 江原道北坪女子中学校 「環境サークル」
- ・学校での花壇や花畑作り、ごみの分別作業、道路のごみ拾いなどの実践活動や、地域の環境施設の見学等の活動について報告。

(5) ロシア

- ① 沿海地方シティーコワ村第15総合学校 「環境保全事業への参加」
- ・地域への様々な事業への参加や、毎年学校で実施している「虎の日」、「環境週間」等の活動について報告。
- ② ハバロフスク地方ハバロフスク市
- ハバロフスク地方国立環境・生物学センター（クラブ）「環境保全事業への参加」
- ・地域内の川の沿岸の浄化活動や環境保全週間、夏季環境キャンプ等に参加して活動した内容について報告。

※ 個別のレポートは、次ページ以降に掲載しています。

(1) 中国

① 遼寧省コロトウ市東苑小学校 「中国草の根活動団の環境保護活動」

- 1 国名及び自治体名 中国 遼寧省
 - 2 活動団体名 中国草の根活動団（コロトウ市環境保護局が主管）
 - 3 記入者の所属 コロトウ市東苑小学校
 - 4 活動（取材）実施日 世界環境デー、地球の日、愛鳥週間
 - 5 活動（取材）場所 コロトウ市及び共に活動を展開する団体の所在省・市
 - 6 活動参加人数 約 1,200 名
- 7 活動内容
- ・ 資源を節約する（水の節約、紙の節約、食料の節約、電気の節約など）。
 - ・ ごみの分類、廃物利用、資源の回収、廃乾電池の回収。
 - ・ 鳥類保護と生物多様性の保護。
 - ・ グリーン消費の提唱（使い捨ての物品を購入しない。野生動物を食用しない。また、野生動物を使って作られたアクセサリーを使用しない。健康的な食事をする。）。
 - ・ 地域から社会にいたるまで環境保護を宣伝するため、巡回展の開催。
 - ・ 持続的発展が可能な価値観の教育の実施（自然の尊重、人の尊重、文化の多様性の尊重）。
- 8 活動の実施成果または参加者の感想等
- ・ 環境保護活動の拡大（市の林業局と共同で望海寺町内会と環境保護についての協力関係を結ぶ、国内外の学校や環境保護団体との連絡・交流、国内・台湾・マレーシアなどの世界の人達と「全世界の古典を朗読する活動」を展開するなど）
 - ・ 団の活動に対して 200 余りの表彰を受けた。
 - ・ 団の活動についての国、省、市による数多くの紹介報道。
 - ・ 団の生徒及び教師の国際的プロジェクトへの参加。
- 9 今後の活動実施計画
- ・ 循環型社会の構築のために、ごみの分類を展開し、資源を大切に活動をする。
 - ・ 「愛鳥週間」をきっかけにして生物多様性を保護する活動を展開する。
 - ・ 他の学校や「自然の友達」、「海の環境保護の人民公社」などの NGO と共に活動を展開する。
 - ・ 環境保護のための「行為」として活動を実施するだけでなく、「心の環境」を保護する活動へと転換させる。
 - ・ 文化の多様性を尊重する教育を進めるため、「全世界の古典を朗読する活動」を広めて、持続的発展が可能な価値観の構築に貢献する。
 - ・ 環境保護関連の教材を作成する。
- 10 連絡先
- 住所：Dongyuan elementary school of Huludao city(Wanghaisi)
Wanghaisi Longgang district, Huludao city, Liaoning province, 125005 CHINA
電話/FAX：+86-429-8905329 / +86-429-2089152
メールアドレス：Wuxianger@126.cm 朱彩鳳 (Caifeng Zhu)

② 遼寧省朝陽市第2高級中学校 「街路樹の立ち枯れ状況調査」

- 1 国名及び自治体名 中国 遼寧省
- 2 活動団体名 朝陽市第二高級中学校
- 3 記入者の所属 朝陽市第二高級中学校
- 4 活動（取材）実施日 2004年10月
- 5 活動（取材）場所 朝陽市大通り
- 6 活動参加人数 72人

- 7 活動内容
 - ・ 街路樹の立ち枯れ状況調査

- 8 活動の実施成果または参加者の感想等
 - ・ 街路樹の立ち枯れの状況と原因について調査した。
 - ・ 生徒の自然や国を大切に作る心が養われた。

- 9 今後の活動実施計画
 - ・ 生徒が朝陽市の全ての環境（自然環境、社会環境など）に関心を持つようにする。

- 10 連絡先
 - 住所：No.2 senior middle school of Chaoyang city
No.36,4Duan, Longshan street, Double tower district, Chaoyang city,
Liaoning province, CHINA
 - TEL/FAX：+86-421-7202003 / +86-421-7202002
 - メールアドレス：Xh630101@sohu.com 徐輝(Hui Xu)
 - ウェブサイト：www.cyegz.com

③ 遼寧省朝陽市第2高級中学校 「朝陽市における環境状況調査」

- 1 国名及び自治体名 中国 遼寧省
- 2 活動団体名 朝陽市第二高級中学校
- 3 記入者の所属 朝陽市第二高級中学校
- 4 活動（取材）実施日 2005年
- 5 活動（取材）場所 朝陽市内の環境保護に取り組んでいる企業等
- 6 活動参加人数 28人

- 7 活動内容
 - ・ 環境についての資料調査、現地視察、専門家訪問及びそれについての討論

- 8 活動の実施成果または参加者の感想等
 - ・ 生徒自身の調査により、朝陽市の環境の汚染状況や整備状況について把握し、報告書を作成した。
 - ・ 生徒の環境意識が高まった。

- 9 今後の活動実施計画
 - ・ 朝陽市における環境整備状況の詳細な調査をする。
 - ・ 重点的に環境整備を実施している現場を視察する。
 - ・ 特に交通環境や大気環境に重点を置いて、生徒に環境教育を行う。

- 10 連絡先
 - 住所：No.2 senior middle school of Chaoyang city
No.36,4Duan, Longshan street, Double tower district, Chaoyang city,
Liaoning province, CHINA
 - TEL/FAX：+86-421-7202003 / +86-421-7202002
 - メールアドレス：Xh630101@sohu.com 徐輝(Hui Xu)
 - ウェブサイト：www.cyegz.com



綿花の再生工場の視察



繊維工場の専門家との懇談会

④ 遼寧省朝陽市第2高級中学校 「生徒の環境意識調査」

- | | | |
|---|-----------|------------|
| 1 | 国名及び自治体名 | 中国 遼寧省 |
| 2 | 活動団体名 | 朝陽市第二高級中学校 |
| 3 | 記入者の所属 | 朝陽市第二高級中学校 |
| 4 | 活動（取材）実施日 | 2005年 |
| 5 | 活動（取材）場所 | 朝陽市第二高級中学校 |
| 6 | 活動参加人数 | 全校生徒 |

7 活動内容

- ・ 継続的な環境学習の実施。
- ・ 環境学習受講後の学生に対するアンケート調査の実施。

8 活動の実施成果または参加者の感想等

- ・ 環境についての知識が普及し、環境保護の意識が養われた。

(アンケート結果)

- ・ 環境保護に関する用語や知識についてほぼ理解されていた。
- ・ 学校の中での環境問題として、「緑化」、「グラウンドの砂の飛散」、「学校周辺の騒音」、「痰をはくこと」があげられた。
- ・ 「学校における環境保護対策として約15万円の予算であなたは何をするか」との質問に対し、全員が「緑化」と答え、特に25%の学生が「グラウンドの緑化」と答えた。
- ・ 「環境の現状についてどう思うか」との質問に対し、70%が「楽観できない状況である」、20%が「環境状況について理解することができ、何をすべきかがわかった」と答え、極少数は「何も考えていない」と答えた。

9 今後の活動実施計画

- ・ グループによる地域の環境保護状況の調査を実施する。

10 連絡先

住所：No.2 senior middle school of Chaoyang city

No.36,4Duan, Longshan street, Double tower district, Chaoyang city,

Liaoning province, CHINA

TEL/FAX：+86-421-7202003 / +86-421-7202002

メールアドレス：Xh630101@sohu.com 徐輝(Hui Xu)

ウェブサイト：www.cyegz.com

⑤ 河北省秦皇島市第12中学校 「生徒による様々な環境保護活動」

- 1 国名及び自治体名 中国 河北省
- 2 活動団体名 秦皇島市第十二中学校
- 3 記入者の所属 秦皇島市第十二中学校
- 4 活動（取材）実施日 2005年3月～10月
- 5 活動（取材）場所 秦皇島市第十二中学校と周辺地域
- 6 活動参加人数 生徒1,127名、教師104名

7 活動内容

- ・ 生徒会の環境ボランティアによる「資源の保護、環境保護の宣伝、地域社会における環境保護、環境保護技術の開発」をテーマにした活動を展開した。
- ・ 主な内容：生徒による環境保護新聞の作成、地域における環境保護宣伝活動、汚水処理場の調査、鳥類愛護活動、環境保護技術についてのコンクール等

8 活動の実施成果または参加者の感想等

- ・ この活動の参加希望者は大変多く、この活動を通して、良い環境保護新聞が作られ、優秀な環境保護技術の発明提案があった。
- ・ また、各種のボランティア活動に参加することにより、生徒の環境保護に対する認識が深まった。
- ・ 更に一歩進めて、環境を保護するために自分で、家庭で、地域社会において自分のできることから努力するようになった。

9 今後の活動実施計画

- ・ 今後も環境保護をテーマにした一連の活動を展開していく。
- ・ 環境保護活動を地域社会により強く働きかけ、生徒の環境保護意識を一層深いものとし、環境保護の理念を育成していく。

10 連絡先

住所： No.12 middle school Qinhuangdao city
No.157,Donggang road, Qinghuangdao city, Hebei province, CHINA
TEL/FAX： +86-13784497809 / —
メールアドレス：Dongjijun12@126.com 董季军(Jijun Dong)



生徒による環境保護宣伝活動



環境保護知識コンテスト

(2) 日本

① 富山県富山市立北部中学校 「環境にやさしいふるさとづくり」

- | | | |
|---|-----------|-------------|
| 1 | 国名及び自治体名 | 日本 富山県 |
| 2 | 活動団体名 | 大広田環境づくり協議会 |
| 3 | 記入者の所属 | 富山市立北部中学校 |
| 4 | 活動（取材）実施日 | 2005年4月～10月 |
| 5 | 活動（取材）場所 | 富山市大広田地区 |
| 6 | 活動参加人数 | 延べ 100名 |

7 活動内容

大広田地区の住民・団体・事業者・行政が協力して実施する「環境にやさしいふるさとづくり」を目指した活動。協議会の中にグリーン部会、資源部会及び情報部会の3つの部会を設置して実施。

- ・ 廃食用油の回収：常時、回収を実施している。
- ・ 「花の道づくり」：花の里親を募集し、育ててもらったプランター100個を設置した。
- ・ アルミ缶回収ボックスの設置：いつでも誰でもアルミ缶を提供できるようにアルミ缶回収ボックスを設置した。
- ・ 「第一回大広田伝説のとびだんご投げ」：大広田地区に伝わる「飛び団子伝説」になぞらえて300個のEMだんごを作り、環境浄化の思いをこめて海岸から海へ投下した。
- ・ 「全国エコタウン大会 in とやま」で活動報告し、またイベントへ参加した。

8 活動の実施成果または参加者の感想等

- ・ 住民の環境問題に関する関心が高まったこと。
- ・ 環境づくりの中心となる人材を育成できたこと。
- ・ 地区内の各組織の連携が強まると共に、行政・企業・教育機関との連携が実現したこと。

9 今後の活動実施計画

- ・ これまで成果のあった活動（緑化運動、廃食用油回収など）の継続。
- ・ 広く住民が参加できる活動の実施と、環境づくり活動の周辺地域までの拡大。
- ・ 全国エコタウン関連組織との連携。

10 連絡先

住所：Oohirota Kankyo-zukuri Kyogikai (Oohirota District Center)

2-1-14 Higashitoyama-kotobuki-cho, Toyama city, Toyama prefecture, 931-8452
JAPAN

TEL/FAX： +81-76-437-9480 / +81-76-438-9014

メールアドレス：goohirota@mb.viplt.ne.jp

ウェブサイト：<http://www.viplt.ne.jp/8ED83AB2/ec/>



プランター作り



とびだんご投げ

② 富山県富山市立北部中学校 「EMだんご作り体験（有用微生物の力できれいな川を取り戻そう）」

- 1 国名及び自治体名 日本 富山県
- 2 活動団体名 富山市立北部中学校
- 3 記入者の所属 富山市立北部中学校
- 4 活動（取材）実施日 2005年11月19日
- 5 活動（取材）場所 富山市立北部中学校
- 6 活動参加人数 約40名（生徒）

- 7 活動内容
 - ・ 北部中学校の学習発表会で、「北東アジア青少年環境シンポジウム」の展示コーナーを設け、土と米ぬかとEM溶液を練り合わせて「EMだんご」を作った。
 - ・ 校区の大広田環境づくり協議会副会長の始良（あいら）さんを指導者として迎え、「EMIには川底にたまったヘドロを浄化する力がある」との説明と実地指導を受けた。
 - ・ 次に、シンポジウム参加者がリーダーとなって参加者とともにだんごを作成し、約40分間で大小合わせて120個の「EMだんご」ができあがった。
 - ・ このだんごは乾燥させた後、学校区内の川へ投入する予定。

- 8 活動の実施成果または参加者の感想等
 - ・ 「EMとは何か?」、「初めてだからやってみよう」と、多くの生徒が体験コーナーに集まった。
 - ・ 参加者からは、「触ってみるとひんやりした」、「EM溶液特有の臭いがした」、「乾燥したら投げてみたい」の他、「どんなどころに投げたら効果があるのか」、「何個ぐらい作ればいいのか」、「自分の家へ持ち帰ってもいいか」など、環境に関するいろいろな質問も出されて、指導者から説明を聞いた。

- 9 今後の活動実施計画
 - ・ だんご作りは、今後1～2ヶ月の1回ぐらいのペースで続けていく予定。
 - ・ 1,000個単位でそろったときに、汚れている川を選び、だんご作り参加者が出かけて行って投入する。
 - ・ また、投入前と投入後の水質の変化を調べて、その結果を学校内で発表する予定。

- 10 連絡先
住所：Hokubu Junior High School
2-4-52 Higashitoyama-kotobuki-cho, Toyama city, Toyama prefecture, 931-8452 JAPAN
TEL/FAX：+81-76-438-5161 / +81-76-438-5162
メールアドレス：hokubutoyama-jhs@tym.ed.jp
ウェブサイト：<http://www.tym.ed.jp/sc255/>



作成したEMだんご

③ 富山県小矢部市立津沢中学校 「環境保全活動についての啓蒙活動」

- 1 国名及び自治体名 日本 富山県
- 2 活動団体名 小矢部市立津沢中学校
- 3 記入者の所属 小矢部市立津沢中学校
- 4 活動（取材）実施日 2005年9月～11月、及び10月30日（日）
- 5 活動（取材）場所 小矢部市立津沢中学校体育館
- 6 活動参加人数 全校生徒156名、保護者及び地域住民約200名

7 活動内容

- ・ アルミ缶回収活動
- ・ 学習発表会における環境保全活動についての啓蒙活動

8 活動の実施成果または参加者の感想等

- ・ ゴミを不用意に捨てない心が育つとともに、ゴミを単なるゴミとして扱うのではなく、資源として再利用しようとする心が育った。その例として、使用済み用紙の再利用数が増えたり、校内から出るゴミの量が減ったりした。
- ・ 日頃使っているものを大切に扱い、長く使用することで、資源の無駄遣いをしないでおうとする心が育った。
- ・ 一人ひとりのゴミの捨て方やエネルギーの使い方などの日常生活のあり方が地球環境に影響することを知り、環境保全のために意識して行動しようとする心が育った。
- ・ 世界各国が協力して地球環境保全活動を行っていることを知り、自国だけの問題ではなく世界共通の問題であることが理解できた。また、これまで以上に世界が協力していく必要性を感じることができた。
- ・ 地球環境保全活動の重要性や必要性を啓蒙し、保全活動を進めていくための行動をさらに広めていくことが大切であることが理解できた。

9 今後の活動実施計画

- ・ アルミ缶回収活動の継続
- ・ 生徒会委員会による環境保全活動に関する学習と活動
- ・ P T Aによる環境保全活動に関する活動（資源ゴミ回収）
- ・ 学習発表会における環境保全活動についての啓蒙活動

10 連絡先

住所：Tsuzawa Junior High School 1231 Kiyosawa, Oyabe city, Toyama prefecture, 932-0112
JAPAN
TEL/FAX：+81-766-61-2027 / +81-766-61-4584
メールアドレス：tuzat@mel.tym.ed.jp
ウェブサイト：<http://www.tym.ed.jp/sc302/>



アルミ缶回収活動



学習発表会での啓蒙活動

④ 富山県南砺市立上平中学校 「結（ゆい）」の心を守り伝える」

- 1 国名及び自治体名 日本 富山県
- 2 活動団体名 五箇山自然文化研究会
- 3 記入者の所属 南砺市立上平中学校
- 4 活動（取材）実施日 2006年10月
- 5 活動（取材）場所 南砺市上平地域
- 6 活動参加人数 研究会40名と県ナチュラリストの方

7 活動（取材）内容

五箇山自然文化研究会の活動内容は幅広く、地域の自然・文化・歴史に関わる様々なことを研究、実践されている。環境保全ということで活動をされているわけではないのだが、この地域でいう「結」の心（人と人との共存の心）を守り伝えていこうとされるその活動が環境と深く結びついている。

五箇山地域には、世界遺産の認定を受けた合掌集落がある。合掌造りと呼ばれる建物は、雪の多い五箇山の風土に合った形をしていて、雪の重みで曲がった木を梁（チョンナ梁）として利用したり、ネソという木を揉（も）んで作ったひもを結びに使ったり、と自然を生かした建築技術が用いられている。屋根は茅（かや）でできていて、数年に一度取り替えられる。今では地元の森林組合が行うが、以前は集落近所総出で行っていた。また家屋は、昔は塩硝（えんしょう）づくりや繭（まゆ）の生産の場でもあったため、暮らしに合った民家形態になっている。先人たちは「結」の心を大切にしながら、自然環境から恵みを受け、利用させてもらい、共生してきたことがうかがえる。

現代の私たちは、自然から恵みを受け、利用することばかり考えてきたように思う。

五箇山自然文化研究会の活動は、忘れかけていた共生の心の大切さを教えてくれる。活動の一つとして、富山県のナチュラリストのみなさんと共に合掌集落の観光ガイドボランティアをされている。また研究されたことを本にまとめて、多くの人に発信されている。そこには建物だけを残すのではなく、自然環境との関わり、人と人とのつながりを伝えていくことが世界遺産認定の本当の意味ではないか、という思いが込められている。

薄れてきた「結」の心を取り戻すための、研究会の方の願いがある。以前のような集落近所総出のスタイルで、合掌屋根の葺（ふ）き替えができないかということだ。そのためには茅を育て、杉を植えるなどして山を手入れしていく必要がある。

研究会の方の活動は、地域環境から人の輪とともに広がっていくだろう。

⑤ 富山県射水市立新湊西部中学校 「射水市アダプト・プログラム」

- 1 国名及び自治体名 日本 富山県
- 2 活動団体名 射水市役所環境課
- 3 記入者の所属 射水市立新湊西部中学校
- 4 活動（取材）実施日 2006年8月～10月
- 5 活動（取材）場所 射水市三日曾根地区ほか
- 6 活動参加人数 延べ30名

7 活動内容

市が管理する道路、公園などの公共空間を、場所を決めてボランティアで市民や事業者が清掃・美化活動をする活動。市は活動の支援として、必要な用具の支給や貸与、廃棄物の回収、アダプトサイン（啓発用看板）の設置などを行う。1999年より、旧新湊市で実施された。現在の主な活動は以下のとおりである。

- ・ 「三日曾根公園をきれいにする会」：約10年前より、有志による地域の公園の美化活動を行う。「花と緑の頭取銀行」「グリーンキーパー」「児童クラブ」「個人ボランティア」の4団体が協力して活動を行っている。
- ・ 「新湊子どもの遊び場つくろう会」：子どもが伸び伸びと育つ空間づくり、自然や生き物に触れ合える魅力ある場所づくりを目標に、ごみ拾いや自然遊びを行う。
- ・ 「がんばりグループ」：新湊漁港近辺の道路や防波堤のごみ拾いを行い、自然環境を整えることで、住みよい町づくりを目指す。
- ・ セキハ（株）、STプロダクツ（株）新湊工場・新湊マテリアル工場、エスエス製菓（株）富山工場ほか：企業単位で、工場周辺や海岸などのごみ拾いをはじめとした美化活動を行う。これらの活動の中から、「三日曾根公園をきれいにする会」と「新湊子どもの遊び場つくろう会」に参加した。

8 活動の実施成果または参加者の感想等

- ・ 自分の住んでいる地域は自分の手できれいにするという意識が大切である。
- ・ 子どもの目線で活動すると、見えてこなかった環境の汚れに気づいた。

9 今後の活動実施計画

- ・ 地域の学校単位でアダプト・プログラムに参加できるような活動の実施。
- ・ 環境美化に対する地域への啓発活動や広報活動の実施。
- ・ ごみ拾いなどへの継続的な取り組み。

10 連絡先

住所：Kankyo ka (Imizu-Shiyakusyo)

703 Kojima, Imizu city, Toyama prefecture, 939-0292 JAPAN

TEL/FAX：0766-52-7967 / 0766-52-1507

メールアドレス：Kankyou@city.imizu.lg.jp

ウェブサイト：http://www7.city.imizu.toyama.jp/project/1306000/29/29_1.html



(3) モンゴル

① セレンゲ県スクバートル市第1中学校 「環境保全のための活動」

- 1 国名及び自治体名 モンゴル セレンゲ県
- 2 活動団体名 スクバートル市 第1中学校9年生Gクラス
- 3 記入者の所属 スクバートル市第1中学校
- 4 活動(取材)実施日 2005年8月~12月
- 5 活動(取材)場所 学校周辺
- 6 活動参加人数 500人以上の生徒

- 7 活動内容
 - ・ 学校周辺の掃除
 - ・ 学校への働きかけによるゴミ箱の設置(25個)
 - ・ 学校周辺の植樹
 - ・ 「ゴミから環境をきれいにするには子供一人ひとりの参加が大切」活動の実施
 - ・ 「ビニール袋は花ではない」活動の実施

- 8 活動の実施成果または参加者の感想等
 - ・ 参加者の感想はとてもよかった。
 - ・ 多くの人に参加したので、良い結果が得られた。
 - ・ 生徒たちは浪費とは何か、環境問題とは何かを学んだ。

- 9 今後の活動実施計画
 - ・ 学校周辺の樹木に施肥をする。また、他の人にも参加を呼びかける。
 - ・ 廃材を収集する。
 - ・ 空き缶、空き瓶などの飲料容器を収集し、得られた資金でもっと多くの活動を実施する。

- 10 連絡先
 - 住所：The centre of the Selenge province Sukhbaatar sum 1-st secondary school
Sukhbaatar city, Selenge province, MONGOLIA
 - TEL/FAX： +976-01-362-22269/-
 - メールアドレス：address-A.Uyanga_19@chinggis.com
 - ウェブサイト：www.selenge.mn (Selenge Province)



活動の様子

(4) 韓国

① 忠清南道公州市公州女子中学校 「学校の森作り活動」

- 1 国名及び自治体名 韓国 忠清南道
- 2 活動団体名 青い森を守る人々の会
- 3 記入者の所属 公州市公州女子中学校
- 4 活動（取材）実施日 2004年～2005年
- 5 活動（取材）場所 公州市公州女子中学校
- 6 活動参加人数 「青い森を守る人々の会」18人

- 7 活動内容
 - ・ 学校内の植樹。
 - ・ 学校内にある木を一つ選んで自分の木とし、その木の観察日記を書く。
 - ・ 学校内の畑や花壇作り。
 - ・ 学校内にある木や花の名前を当てるクイズ大会の開催。
 - ・ 学校の森の環境保全活動（環境掲示板の設置、生ごみの減量及びリサイクル等）

- 8 活動の実施成果または参加者の感想等
 - ・ 「青い森を守る人々の会」18人を中心に始めた活動が、しだいに全校生徒へと広まり、全校生徒によって美しい学校の森が保全されるようになったこと。
 - ・ 学校内で、様々な環境保全活動が自主的に実施されるようになったこと。
 - ・ 生徒に環境保全の意識と環境にやさしい心を培うことができたこと。

- 9 今後の活動実施計画
 - ・ みんなが一つになって学校の森を作り上げ、地域の住民がいつでも訪れることができるようにする。
 - ・ 環境保全活動の結果をホームページへ記載して、他の活動団体と情報交換する。
 - ・ 環境保全活動期間中に生徒によるいろいろな活動を持続的に運営するために、学校教育計画へ反映できるよう予算を確保する。

- 10 連絡先
 - 住所：Gongju Grils' Middle School
3-2 Gyo-dong, Gongju city, Chungcheongnam province, KOREA
 - TEL/FAX： +82-41-855-1152 / +82-41-856-7571
 - ウェブサイト： <http://124.0.62.195>



植樹



畑作り

② 忠清南道保寧市大川中学校 「学校での環境保全活動」

- 1 国名及び自治体名 韓国 忠清南道
- 2 活動団体名 大川中学校 3年7組
- 3 記入者の所属 大川中学校
- 4 活動（取材）実施日 2005年3月1日～2006年2月28日
- 5 活動（取材）場所 大川中学校
- 6 活動参加人数 15人

7 活動内容

- ・ 後輩への制服、体操着、学習参考書などの譲渡。
- ・ 自動車の排気ガスを減らすために、公共交通機関の利用。
- ・ 学校内の庭園造り。
- ・ 学校の周辺道路の清掃（毎週月曜日の学級活動の時間に実施）。
- ・ 学校の環境保全活動への積極的参加（自然観察研究大会、環境作文の作成、環境保全授業など）。
- ・ 学校給食から出る生ごみの減量及び堆肥づくり

8 活動の実施成果または参加者の感想等

- ・ 先輩から譲り受けることによって、資源の節約と同時に、先輩の生活ぶりをうかがい知ることができ自分自身を反省する良い機会にもなったこと。
- ・ 自然を大切に作る心が芽生えたこと。
- ・ 環境保全への意識が強くなったこと。

9 今後の活動実施計画

- ・ 学校での活動を基にして、環境保全活動を家庭へも広めること。
- ・ リサイクル活動を実施すること。

10 連絡先

住所： Taechon Middle School

43 Nam-Ro, Boryeong city, Chungcheongnam province, KOREA

TEL/FAX： +82-41-934-2602 / +82-41-934-9830

ウェブサイト：<http://www.taechon.ms.kr>



学校の周辺道路の清掃活動



後輩に学習参考書を譲るための整理

③ 忠清南道青陽郡長坪中学校 「環境体験活動」

1. 国名及び自治体名 韓国 忠清南道
2. 活動団体名 長坪中学校 環境サークル
3. 記入者 所属 長坪中学校
4. 活動（取材）実施日 2006年4月～2006年10月
5. 活動（取材）場所活動 青陽郡一帯
6. 活動参加人数 35名

7. 活動内容

忠清南道の支援を受けて環境体験教育活動を実施することになる。

長坪中学校 環境サークルを作り環境体験活動を実施

- ・ 菜園作り活動 7回実施
- ・ 河川調査及び下水終末処理場見学
- ・ ごみ埋立地及びごみ焼却場見学
- ・ 干潟調査活動及び環境テーマ活動実施
- ・ セマングム防潮堤建設現場及びセマングム干潟探査
- ・ 望月山探索活動実施

8. 活動の実施成果または参加者の感想等

- ・ 生徒たちの環境問題に対する関心が高まった。
- ・ 住民たちの環境汚染に対する関心を高める効果があった。

9. 今後の活動実施計画

- ・ 河川管理活動及び住民への広報活動の継続
- ・ 地域住民が参加できる環境プログラムの開発、運営

10. 連絡先

- ・ 住所： Jangpyeong middle school
Jyungchu-ri, Jangpyeong-myon, Cheongyang-gun,
Chungcheongnam province, KOREA
- ・ TEL/FAX： 041-942-6016 / 041-943-7921
- ・ メールアドレス： lhn62@hanmail.net
- ・ ウェブサイト： <http://www.jpbigfield.ms.kr/>



干潟調査活動



ごみ埋立地見学

④ 江原道華川郡看東中学校 「美しい学校の森作り」

- 1 国名及び自治体名 韓国 江原道 華川郡
- 2 活動団体名 華川郡4-H会
- 3 記入者の所属 看東中学校
- 4 活動（取材）実施日 2004年 4月 ～ 2006年 11月
- 5 活動（取材）場所 学校内・外と周辺
- 6 活動参加人数 生徒-49名, 教師-9名

7 活動内容

- ・ 全校生 49名が全員 4-H会に加入して、農村地域に合う地域ボランティア活動と美しい学校の森を作るために、自分の木を持つ運動を通して、木と野生の花を大切にしている活動である。
- ・ 美しい学校を作るために、無秩序に植えられていた木を植え替え、地域に自生する野生の花の畑を色々な場所に造成して、四季を通じてずっと楽しめるようにした。
- ・ 手入れをした花壇のすべての植物の観察日誌を作成し、討論等をしたので、植物の観察力と多様な知識を得ることができた。

8 活動の実施成果または参加者の感想等

- ・ 3年間に亘って学生と教師が汗を流した結果、2006年10月に韓国で“一番美しい学校”として選ばれた。
- ・ 学校と地域住民が共有する、木の生い茂った公園として活用されており、また、自分の手で作った空間なので自慢にもなり、愛情がわいた。

9 今後の活動実施計画

- ・ これからも私たちは森を保存し、育てて行くのに最善を尽くし、この小さい学校に学生がいる限り、森作りの歴史は続くと思われる。

10 連絡先

住所： Gandong middle school

608-1, Yuchun-ri, Hwacheon-gun, Gangwon province, KOREA

TEL: +82-33-442-0782 FAX: +82-33-442-1781

メールアドレス：jgb2292@hanmail.net



森の中の学校

⑤ 江原道北坪女子中学校 「環境サークル」

- 1 国名及び自治体名 韓国 江原道
- 2 活動団体名 北坪女子中学校 4-H会
- 3 記入者の所属： 北坪女子中学校
- 4 活動（取材）実施日 2006年 4月 ～ 2006年 11 月
- 5 活動（取材）場所 学校内・外と周辺
- 6 活動参加人数 生徒-20名，教師-2名

7 活動内容

- ・ 本校の代表花であるバラの花を育てて花壇や花畑を作り、環境浄化の日にはごみの分別作業がきちんとして行われているかを確認して再分別する実践活動を展開した。
- ・ 啓発活動の時間を利用して、主に環境体験学習の計画を立てて実践した。
- ・ セウン浄水場，東海火力発電所，ゴミ埋立地，廃水最終処理場 など、地域の環境施設を見学し、環境汚染物質等をどのように処理していくのかを調べた。
- ・ 校門の外側の道路周辺のごみ拾いをした。

8 活動の実施成果または参加者の感想等

- ・ 環境サークル活動を学校内外で実施することによって、地域住民はもちろん学生の環境に対する認識が向上し、普段の生活の中でも環境保全を意識するきっかけになった。
- ・ 母校を大事にする精神を育てることができ、生物資源の重要性を認識する契機にもなった。
- ・ ごみを捨てない習慣を持つことができ、環境問題に対する危機感を持って問題解決のための活動への自発的な参加を促す機会を作ることができた。
- ・ 学校周辺及び校内の清掃を通じて、まず自分が属している場所をきれいに手入れする習慣を持つことができた。また、よりきれいな環境のための指導を自然に行うことができた。
- ・ 学生の環境保全意識を転換させる契機となり、環境保全活動に先導的な役割を果たすことができた。

9 今後の活動実施計画

- ・ 教科活動と視聴覚教育活動など多様な情報を提供することにより、環境問題の深刻さを認識して環境保全を実践できる色々な環境実践活動を作り、これらを実行する予定である。（持続的な環境実践運動：花壇の手入れ、ごみ拾い、廃棄物の分別作業等）

10 連絡先

住所： Bookpyong middle school
2-3363, Danbongdong, Donghe-si, Gangwon province, KOREA
メールアドレス： success920@hanmail.com



木への水やり作業



環境浄化活動

(5) ロシア

① 沿海地方シティーコワ村第 15 総合学校 「環境保全事業への参加」

- 1 国名及び自治体名 ロシア 沿海地方 シティーコワ村
- 2 活動団体名 第 15 総合学校
- 3 記入者の所属 生物学教師ツェペンニコヴァ O.M.、
ブジツカヤ N. 11 年生
- 4 活動（取材）実施日 2002～2006 年
- 5 活動（取材）場所 シティーコワ村、第 15 総合学校
- 6 活動参加人数 延べ 125 名

7 活動内容

- ・「極東地域における市民環境活動発展」プログラムの一部である「自分の友達を見つけて守る」という事業に参加。
- ・「自然保護 アムールタイガー」という事業を実施。
- ・「子供たちに愛について語る」というセミナーを実施、参加者に沿海地方における絶滅に近い動物類を紹介。
- ・毎年学校で「虎の日」、「環境週間」、「地球の日」、「鳥保護週間」の活動が実施されている。

8 活動の実施成果または参加者の感想等

上記の事業は、生徒の環境保護に関する知識を高めて、環境教育プログラムの一部として効果的と思われるています。

9 連絡先

TEL : 8(42335)34-7-45

メールアドレス : Mikel2003@inbox.ru

② ハバロフスク地方ハバロフスク市

ハバロフスク地方国立環境・生物学センター（クラブ）「環境保全事業への参加」

- 1 国名及び自治体名 ロシア ハバロフスク地方 ハバロフスク市
- 2 活動団体名 ハバロフスク地方国立環境・生物学センター（クラブ）
- 3 記入者の所属 ツーネヴァ N.F.、科学教育課長
- 4 活動（取材）実施日 2006年8月～10月
- 5 活動（取材）場所 ハバロフスク地方 ハバロフスク市
- 6 活動参加人数 延べ30名

7 活動内容

（1）地域内活動「きれいな川と森を守りましょう」

活動（取材）実施日 2002年6月、2003年6月、2004年6月

活動（取材）場所 ハバロフスク地方国立環境・生物学センター、クラスナヤ川

活動参加人数 150名

活動内容

- ・クラスナヤ川の沿岸浄化、ごみ収集
- ・環境保全宣言活動
- ・レジャー活動：スポーツゲームなど

活動の実施成果または参加者の感想等

- ・36tのごみを収集
- ・宣言パンフレットや資料を配布
- ・川を汚染しないように、環境保全宣言板を設置
- ・近くの民間会社などのためにクラスナヤ川環境保全資料を作成
- ・全ロシアアムール川環境保全事業「共同活動週間」に参加

今後の活動実施計画

- ・夏期は継続的に浄化活動を実施する予定

（2）夏期における環境キャンプ「成功」

活動（取材）実施日 2004年6月

活動（取材）場所 ハバロフスク地方国立環境・生物学センター、ハバロフスク地方

活動参加人数 30名

活動内容

- ・環境保全実践活動、クラスナヤ川沿いごみ収集事業
- ・住民の宣言活動
- ・レジャー活動：水泳競技、スポーツゲームなど

活動の実施成果または参加者の感想等

- ・ストロイカ地域約10,500㎡とクラスナヤ川沿い10,000㎡からごみを収集。

- ・花壇を作って、植物の苗を植えた。
- ・「森を火災から守りましょう」、「家の近くの公園の面倒を私は見ます」、「公園新しい人生を〜」、「花々」、「私の庭の植物」という宣言活動が実施された。
- ・住民の方と森の火災防止について説明会を実施。
- ・宣言パンフレットや資料を配布

今後の活動実施計画

- ・生徒による夏期における社会活動

(3) 夏期における環境キャンプ「緑の光線」

活動（取材）実施日 2005年6月

活動（取材）場所 ハバロフスク地方国立環境・生物学センター、ハバロフスク地方

活動参加人数 63名

活動内容

- ・環境教育、環境知識を高める学習。
- ・ストロイカ地域とクラスナヤ川沿いにおけるごみの収集、美化活動、不法投棄防止活動
- ・啓蒙・宣言活動
- ・レジャー活動、廃棄物処理場見学

活動の実施成果または参加者の感想等

- ・不法投棄場を確認、監視、記録
- ・クラスナヤ川沿い 1.5km でごみ収集を実施
- ・1.5t（約 100 個の袋）のごみ、3t の金属類廃棄物を収集
- ・総面積 342.2 m² の 18 箇所の花壇を造成
- ・1,471 株の苗を植栽
- ・第二次世界大戦の参加者が住んでいる家の庭の美化を実施
- ・市内、第二次世界大戦記念に植えられた極東杏メモリアル並木 70 株の周りの草むしりを実施
- ・住民に環境に関するアンケート調査を実施
- ・環境をテーマにした宣言演劇を上演

今後の活動実施計画

- ・生徒による夏期における社会活動

(4) 地域内活動「環境保全週間」

活動（取材）実施日 2004年4月15日～7月5日

活動（取材）場所 ハバロフスク地方国立環境・生物学センター、ハバロフスク地方

活動参加人数 172,555名、12地域

活動内容

- ・環境保全・浄化・美化活動

- ・宣言活動

活動の実施成果または参加者の感想等

- ・クラスナヤ川周辺と住宅街でごみ拾い活動を実施
- ・市内公園における美化活動を実施
- ・住民の積極的な環境保全に関する宣言
- ・「私たちは地球を守る者」という環境をテーマにした宣言演劇を上演
- ・「環境→安全→生活」という展覧会を実施

今後の活動実施計画

- ・毎年継続的に実施予定

(5) 地域内活動「環境保全週間」

活動（取材）実施日 2005年4月15日～7月05日

活動（取材）場所 ハバロフスク地方国立環境・生物学センター、ハバロフスク地方

活動参加人数 142,162名、16地域

活動内容

- ・環境保全・浄化・美化活動
- ・宣言活動

活動の実施成果または参加者の感想等

- ・市内、第二次世界大戦記念に極東杏メモリアル並木（70株）を造成
- ・1,471株の植物を植栽
- ・131枚の宣言ポスター、パンフレットを作成

今後の活動実施計画

- ・毎年継続的に実施予定

(6) 地域内活動「地球の日」

活動（取材）実施日 2006年4月29日

活動（取材）場所 ハバロフスク地方 ビチーハ村

活動参加人数 75名

活動内容

- ・環境保全、浄化活動、植物公園における浄化、木の剪定、苗植えの準備
- ・環境保全・浄化・美化活動
- ・宣言活動
- ・レジャー活動、クイズ

活動の実施成果または参加者の感想等

- ・アムール川汚染問題に関するプレゼンテーション、現地お土産用商品のロゴ作成コンクールを実施。
- ・生徒や住民に環境に関するアンケート調査を実施。
- ・ハバロフスク市南部や付近の市町村に2000枚以上の環境保全宣言パンフレットを

配布。

- ・ ソドルージェストワー植物公園における美化・浄化活動を実施
- 今後の活動実施計画
- ・ 毎年継続的に実施予定

8 連絡先

住所 : 12, Montazhnaya, 680001, Khabarovsk, RUSSIA

TEL/FAX : (4212) 50-81-89 / (4212) 50-81-91

メールアドレス : tyneva@list.ru

4 青少年からの提言～北東アジア青少年環境シンポジウム 2006 参加者の提言～

北東アジア青少年環境シンポジウム 2006 では、参加者が、豊かな北東アジア地域の環境保全に向けて、今後私たち一人ひとりが何をすべきかについての意見交換を行い、その内容は「青少年からの提言」として次のとおり取りまとめられました。

今後の環境保全活動や環境協力の展開に際して、北東アジアの将来を担う青少年達の提言をご参考にさせていただければ幸いです。

☆ まずは、私たち一人ひとりが、できることから取り組みを始めていくことが大切です！

- ・野鳥が暮らしていける環境を保護するためには、きれいな川、海を取り戻していかなければならない。そのためには、私たちができることから始めることが必要。
まずはごみ拾いを継続し、植樹や花をいっぱい植えるなど、シンポジウムで学んだことを活かして自然とのかかわりを持って行きたい。
- ・私たちは政治家でも大企業の社長でもないから、環境を保全するために私たちができることは、小さな身の回りの環境保全活動からはじめることが必要だと思っている。
みんなこまめに身近なことから取り組んでいきましょう。

☆ 学校や地域など、身近なところで行われている活動に積極的に参加していくことが大切です！

- ・私は、村の美化活動に参加して、様々な木の苗を植えたり花壇をつくったりしている。
- ・極東亀の研究に参加していた。今年は9匹の亀を育てて自然に帰した。多くの参加者は亀の数が減って分布エリアも狭くなったと感じていた。
- ・松の木が切られ、減ってきているので、エコクラブで植樹活動を行っている。植えることにより、わずかだが、数とその分着実に増加するのはうれしい。皆さんも一人1本植えれば緑が増え、環境が豊かになります！
- ・学校周辺に白樺の森をつくる計画を作成した。その森にはレクリエーションの場と小さな池を作り、池にハスの花を育てていきたいと思っている。
- ・2005年に「自然に感謝する」という美化計画を立て、それに従って河川浄化やごみ拾い等の町環境美化事業を実施している。この他300本の松、61本の白樺などの苗を植えた。また、去年は極東蛙の卵を集め、卵を水のある河川に移動させる活動に参加した。

☆ 今、それぞれが行っている取り組みを、今後もずっと続けていくことが大切です！

- ・ハスの回復に力を入れている。去年は3つの湖にハスの苗を植えて、2箇所にはハスの花が咲いた。将来はハスの数を増やしてハスの地方と呼ばれるようにしていきたい。
- ・絶滅が近いといわれる薬草を育て、絶滅をストップさせるための研究をしている。また、自分の学校の森に、薬草の苗を植える活動も実施している。これを毎年続けることで薬草の種は復活すると期待している。

☆ 活動の輪をさらに広げていくことが大切です！

- ・私たちのエコクラブは環境保全事業に参加している。また環境美化活動にも参加している。参加している活動について、他の子どもたちにも伝え、出来るだけ多くの参加を呼びかけるようにしている。
- ・私たちは環境ファンドを設立し、市の環境美化に力を入れている。また、市民や学校への啓発活動やアンケート調査も実施しており、事業への参加者は毎回増加している。また、きれいな水質を保護するための企画を作成し、スカウトのフォーラムで発表した。

この「北東アジア青少年環境保全レポート」や北東アジア青少年環境シンポジウムに関する資料は以下のサイトに掲載しています。

「北東アジア環境情報広場」

http://www.npec.or.jp/northeast_asia/index.html